

# 水げん通信

サンズ [SONS : Sources of New Streams]

水かおる早良区

“心地よい時間”の流るまちづくり

第5号 2008年 夏号  
玉井てるひろ

〒814-0171 福岡市早良区野芥 3-26-7  
TEL.092-405-3000 FAX.092-405-3001  
E-mail: ttamai@ray.ocn.ne.jp  
URL: http://www.heartfultime.com  
発行者: 福岡市議会議員 玉井輝大

福岡市議会議員 玉井 輝大

今回から、「水げん通信」の紙版は白黒とさせていただきます。よろしくお願いたします。

お忙しい中、市政報告会へのご参加、本当に有難うございました。6月議会は出席がありませんでしたが9月議会に向けて、環境について発言する準備を開始しました。



## ●「考える政治家」「議員村に安住しない政治家」

首相問責、参院初可決。何で今頃？という私の疑問に、西日本新聞社説（6月12日）は答えている。「提出時期には異論がある。暫定税率復活が衆院で再可決され、有権者の関心が高まった瞬間を選ぶ判断もあったはずだ。（中略）私は、与党が大勝した3年前の郵政総選挙と、野党が過半数を占めた昨年の参院選という『相反する2つの民意のぶつかり合いが現在の国会の姿』と書き、前に進まないのであれば直近の民意を問えと求めた。（段落）東京・秋葉原で起きた無差別殺傷事件は『このままでは、この国は破滅しかねない』という社会の悲鳴に聞こえる。解決すべき政策課題は跡を絶たない。『緊張感のない国会』との対照を思い、あらためて指摘したい。（段落）もはや衆院を解散し、有権者の声を聞くことからは、すべては始まらない。」日経、朝日、読売の社説を比較したが、西日本が一番私にぴったりでした。

中央公論7月号、「日本没落の理由」堺屋太一より；「国家コンセプトは失われました。そして、政党も省庁も、政治も官僚も、それに変わるコンセプトが出せず、それぞれ別々なことを言っています。そのために『何も決まらない』状態に陥っているのです。（中略）いまの政治家は、『議員村』の住民になってしまっているのです。」そして、2世議員の東京生まれ、育ち、暮らしの政治家としての限界、小選挙区制による専門性の後退、「政権よりも政局」という「小さな政治」、「支持よりも知名度」という批判を展開しています。さらに、『その地位につくことだけを目標とする人物を、その地位につけるな』と言います。会社の社長になるのを人生の目標にしている人物を社長にすると、社長で居続けるための保身だけになり、企業の活力は失われます。政治家も議員でいることだけが目的の人物はよろしくない。」さらに「選挙に当選するために政党に属し、選挙区に住民票を移すだけで、政党

政治家としての政権合意も、地元への愛着もありません。（中略）『自分の意見のない政治家』なのです。（中略）こうして、平成の国会から、政策的経緯（けいりん；治国在民の方策）が消えました。そして官僚から『こう動いてもらえれば』と頼まれると、『役所が所掌の業界に声をかけてくれる』ことを期待して、動くことにもなります。」と、そして、「わが国の政治は、各省別の官僚共同体の利益と、それを代弁する『議員村』の住民にゆだねられています。（中略）各省別官僚共同体を壊し、『考える政治家』『議員村に安住しない政治家』を育てることです。」と結んでいます。忘れないように頭に刻んでおくべき言葉です。

同じ号で、前原さんと与謝野さん対談しています。少し、ええ？と言う発言も、両者から。私が長く属している会のメーリングリストに、首相問責に絡めて「地方自治法の一部改正」が通ってしまったことに、警鐘を鳴らす書き込みが。

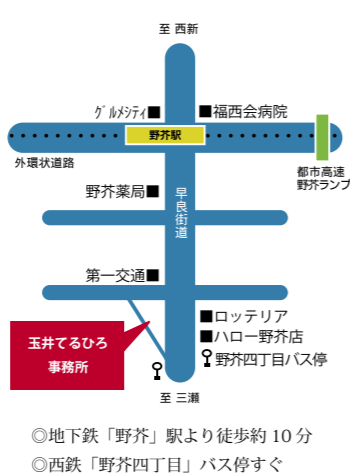
声はいろいろと聞こえてきます。状況は歴史で、一つの体制が民意から離れていき、それを民意へ戻すことができず、大きな改革、維新、革命などにつながる状況のように私には思われます。そんな今、やらねばならないことは？ 堺屋さんの言葉を使うと、自ら「考える政治家」「議員村に安住しない政治家」を目指すこと。そして、それを1人ではなく行うこと。これは間違えなくやらねばならない。あとは、大きな社会指針をつくること。一つの社会は、簡潔な幾つかの言葉で秩序がつけられていく、生物のDNAのように。その言葉が、戦後民主主義での言葉から、もっと、今にふさわしいものにしなければならないのでしょう。これは、国の法律を作る訳ではないので、一地方議員でもやれる。それから、法律制度が生み出されていく。

## ● 市政のこと、何でもご相談ください。

市政のことでお困りなこと、ご意見をお持ちのこと、ありませんか？

次の時間と場所でご相談を承っています。どんなことでも、何人でも玉井と話にお越しください。

- 時間 16:00～17:00
- 場所 ○月・水・金曜日  
民主・市民クラブ議員控室  
(福岡市議会議会棟11階)  
TEL.092-711-4736
- 火・木曜日  
玉井てるひろ事務所  
TEL.092-405-3000



## ● 水べ清掃を一緒にしませんか？

毎週日曜日、午前11時より1時間程、油山川（野芥校区）を清掃しています。一緒にさわやかな汗をかきませんか？  
ご参加いただける方は、事務所までご連絡ください。  
中止や時間変更などの確認は、水べからのまちづくりサイト（www.mizunomori.net）でご確認ください。

## ● 野芥のまちづくり課題明らかに

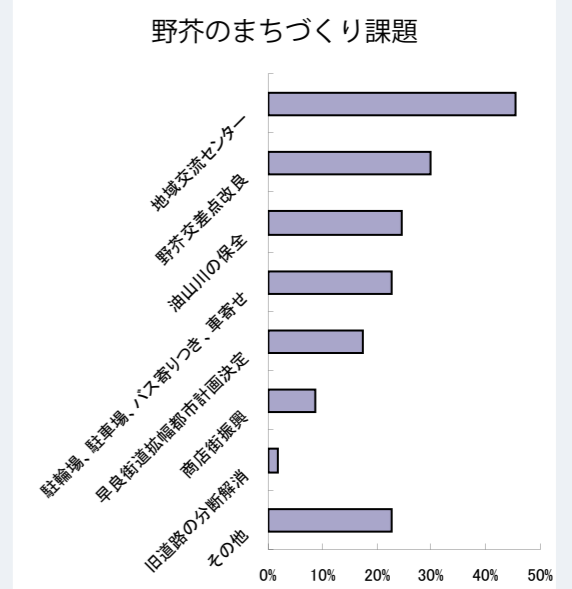
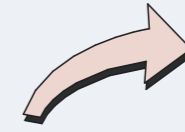
<地域プロジェクト>

5月17日(土)、野芥公民館にて市政報告会を開催しました。当日は、地元の方を中心に60名の参加があり議会報告の後、野芥のまちづくりについての意見交換をおこない、今後の課題が明確となりました。

参加者にドットシールを2枚ずつ配り、課題への投票をしていただいた結果は次のようになりました。

1. 地域交流センター
2. 野芥交差点改良
3. 油山川の保全

項目	票数	票数/参加者
地域交流センター	26	46%
野芥交差点改良	17	30%
油山川の保全	14	25%
駐輪場、駐車場、バス寄りつき、車寄せ	13	23%
早良街道拡幅都市計画決定	10	18%
商店街振興	5	9%
旧道路の分断解消	1	2%
その他	13	23%
参加者	57	



一番関心が高かった地域交流センターの設置(46%)、野芥口交差点のバス道路整備(23%)、野芥交差点の改良(30%)などを、早期実現をテーマとして取り組んでいきます。

また、油山川の保全活動(25%)を続けながら、川から見えてくる問題を浮き彫りにして、さらに野芥にしかないもの(自然、歴史、商店街、農業、拠点性など)を活かし地域全体の活性化を図り、教育や福祉の問題にも力をいれ、地元の方が「野芥に住んでよかった」と思えるように、野芥のまちづくりを進めていきます。

今後ともご協力お願いいたします。



## ● 水べからのまちづくり

<http://www.mizunomori.net>

<水の杜(もり)活動>

「水の杜(もり)活動」として、野芥校区を流る油山川を中心とした、まちづくりを目指しています。

「水の杜(もり)活動」は、油山川を日常的に観察、報告していただく「市民科学者」と市民科学者からの報告をもとに、清掃美化活動をしていただく「おそうじ隊」による水べ環境を良くしていくための活動です。

また、年間を通じた活動により、四季折々の水の営みを明らかにし、草花や魚、昆虫、鳥など生命の“いぶき”をお伝えしていきます。

さらに、清らかな水を生み出し続ける森づくりへと、活動をつなげていきます。

「市民科学者」と「おそうじ隊」メンバーを募集しています！詳しくは、ウェブサイトまたは、事務所までお問い合わせください。



市民科学者からの報告が載ってるよ！  
[www.mizunomori.net](http://www.mizunomori.net)